

神奈川県

学校防災教育研究集会

地域の人的資源をいかに防災教育に活かすか？
皆さんで考え、議論する研究集会

■研究/活動報告

- ・ 横浜市の木造密集地域における防災教育
- ・ 鎌倉市における津波危険地域との協働による防災教育
- ・ 川崎市の養護学校と地域との防災連携
- ・ SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の防災教育
- ・ 神奈川県下の私立学校における防災教育の実態
- ・ 神奈川県下における“我が事の防災教育”支援活動 など

■パネルディスカッション

神奈川県に係る地域の人材を活用し、いかに“我が事の防災教育”を推進するか？

○開催日時：1月31日(土) 13:30~16:30

○会場：鎌倉商工会議所ホール

〒248-0012 鎌倉市御成町17-29 TEL 0467-23-2561(代表)/FAX 0467-25-0900

○主催：「神奈川県に係る防災研究データベースの活用
を起爆剤とした官学民連携による地域防災活動
活性化研究」運営委員会

(代表 神奈川大学建築学科教授 荏本 孝

久)

○後援：神奈川大学

○問い合わせ・申込み：(株)防災・情報研究所

住所：〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-10 イマス日本橋福山ビル

2階

e-mail : idpis@idpis.co.jp

Tel : 03-3249-4120 Fax : 03-3249-7296

主催者からのご挨拶

神奈川県は、大地震や風水害、火山災害などの災害危険が高い地域です。平成26年は広島豪雨災害や御嶽山の噴火、長野県北部地震などの災害が多発しており、神奈川県でも土砂災害が発生しました。一方では、阪神・淡路大震災から20年、新潟県中越地震から10年、東日本大震災から3年半を経過した現在、どのように地震や津波災害に取り組むべきか、新たな課題も生じてきています。

「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携による地域防災活動活性化研究」プロジェクトは、神奈川県下の地方自治体、企業、学校、研究者や地域の防災に取り組む方々を発掘し、支援する方々とネットワーク化することを目的として、文部科学省からの助成研究により平成25年から3年間の予定で実施してきています。

この度、学校防災に係る研究集会を開催し、神奈川県下で学校防災に熱心に取り組んでおられる方々からの活動報告や大学・研究機関の研究者などによる学校防災教育支援活動の現状と課題を発表していただくことになりました。現在行っている神奈川県下の私立学校のアンケート調査結果や、鎌倉市内の津波危険地区における調査報告を行うなかで、学校防災教育の課題や地域との連携課題等も併せて討議したいと考えています。

今後の神奈川県の学校防災教育に役立てていただくため、ぜひご参加ください。

○開催日時：1月31日（土）13:30～16:30

○会場：鎌倉商工会議所ホール

〒248-0012 鎌倉市御成町17-29 TEL 0467-23-2561(代表)/FAX 0467-25-0900



○活動報告・パネリスト（仮題）：

横浜市立太尾小学校校長 鷺山 龍太郎氏 「地域・学校・家庭の連携による防災教育の推進」

鎌倉市立第一中学校 校長 西岡正江氏 「津波危険地域との協働による防災教育」

神奈川県立高津養護学校 総括教諭 兼子秀彦氏 「地域と協働した防災活動」

平塚市立中原中学校教諭（理科）佐藤明子氏 「教科教育と防災教育をつなげる実践例」

神奈川県立西湘高校教諭（地学）釣田あかり氏と西湘高校生徒 「SSH 西湘高校の防災教育」

公文国際学園英語科教諭 川上誠氏 「私立学校における防災教育」

神奈川県立生命の星・地球博物館 館長 平田大二氏 「“我が事の防災教育” 支援」

慶応義塾大学商学部 教授 吉川肇子氏 「クロスロードと防災教育」

○起爆剤プロジェクト活動報告： 防災・情報研究所 高梨成子氏

○総合司会： 時事通信社 解説委員 中川和之氏

○主催：「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携による地域防災活動活性化研究」運営委員会（代表 神奈川大学建築学科教授 荻本 孝

久)

○後援：神奈川大学

■問い合わせ・申込み：(株)防災・情報研究所

e-mail : idpis@idpis.co.jp Tel : 03-3249-4120 FAX : 03-3249-7296